

2月7日 [金]	2月8日 [土]	2月9日 [日]	2月10日 [月]	2月11日 [火・祝]
特集◆カメラマン 鈴木達夫 12:00— <small>日本発見シリーズ</small> 佐賀県 鹿児島県 29分+29分 13:00—トークイベント 筒井武文 山崎裕 14:00— ヒューマン・フロー 大地漂流 140分 16:20—トークイベント 安田菜津紀 17:30— 女優 原田ヒサ子 24分 17:55—トークイベント 原田美枝子 19:15— ★無料参考上映 <small>NONFIX</small> しかし... 福祉切り捨ての時代に 48分 <small>★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。</small> — 入れ替え — 20:15—トークイベント 是枝裕和	特集◆ダイバーシティ 11:00— ★無料参考上映 <small>すばらしい世界旅行</small> 鳥葬の国 ムスタン 51分 <small>★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。</small> — 入れ替え — 12:00—トークイベント 杉山忠夫 山崎裕 13:15— 渚のふたり 87分 <small>【バリアフリー版上映】</small> イ・スンジュン監督 ビデオメッセージ (20分) 16:00— ★無料参考上映 教育と愛国 <small>～教科書でいまい何が起こっているのか～</small> 50分 <small>★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。</small> — 入れ替え — 17:00—トークイベント 森達也 斉加尚代 18:15— 岡本太郎の沖縄 121分 20:20—トークイベント 井浦新 葛山喜久	特集◆ダイバーシティ 11:00— 極北のナヌーク 78分 12:20—トークイベント 川井田博幸 山崎裕 13:15— 恋とホルバキア 94分 14:50—トークイベント 樹梨杏 井戸隆明 16:00— これは君の闘争だ 93分 17:35—トークイベント 西原孝至 18:30— ★無料参考上映 アウラ <small>【上映前トーク/無料】</small> <small>【国分拓(本作ディレクター)】</small> 85分 <small>★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。</small> — 入れ替え — 20:20—トークイベント 高野秀行	特集◆ダイバーシティ 11:00— シベリヤ人の世界 99分 12:40—トークイベント 山上徹二郎 13:30— セメントの記憶 88分 15:00—トークイベント 有田浩介 16:00— 自画像：47KMの窓 110分 17:50—トークイベント 諏訪敦彦 19:00— 共犯者たち 105分 20:45—トークイベント 金平茂紀	10:00— コンペティション部門 入賞作品上映 <small>入賞作品は2020年1月下旬に決定します。作品の総時間によっては、上映開始時刻を遅らせる可能性があります。詳しくは実行委員会にお問い合わせください。</small> 18:00— ★無料参考上映 <small>BS1スペシャル</small> ホルトとダシャ <small>マンホールチルドレン20年の軌跡</small> 99分 <small>★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。</small> — 入れ替え — 19:50—トークイベント 山口秀矢 吉岡忍 20:30— 入場無料 表彰式 閉会式 (21:00 終了予定) <small>【審査員】</small> 佐藤信 橋本佳子 足立正生 秋山珠子 金子遊

「座・高円寺」ドキュメンタリーフェスティバル

2月7日 [金] 11日 [火祝] タイムテーブル

特集◆ダイバーシティ—多様性— DIVERSITY



「座・高円寺」ドキュメンタリーフェスティバル

Vol.1

特集◆ダイバーシティ—多様性—

ZA-KOENJI Documentary Festival

「座・高円寺」ドキュメンタリーフェスティバル

2020年1月11日 [土] チケット発売開始

前売1回券 ¥1,300 (全日指時指定・販売は上映の前日まで)
 ゲスト・セレクション [Pコード:550-862]
 特集上映/コンペティション部門入賞作品 [Pコード:550-863]
 (当日券は¥1,500になります)

3回引換券 ¥3,500 [Pコード:467-905] (販売は2月6日(木)まで)
 会期当日、地下2階会場受付で、好きな回(3回分)の日時指定チケットとお引き換えが必要です。ただし、前売券が完売の場合は、ご利用いただけません。
 確実にご覧になりたい場合は、通常の前売券のご購入をお薦めします。

◆全ての回が日時指定(全席自由)
 ◆コンペティション部門入賞作品は、1枚のチケットで全ての上映作品をご覧いただけます。
 ◆「★無料参考上映」表記のある作品は、無料でご覧いただけます。ただし、上映後のトークイベントは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。
 ◆障がい者手帳をお持ちの方は、座・高円寺チケットボックスでのご予約に限り、1割引きになります。



チケット取り扱い

チケットぴあ

直接購入 — 「チケットぴあのお店」10:00~20:00 (営業時間は店舗によって異なります)
 「セブンイレブン」(発売初日は10:00~)
 電話予約(音声認識予約) — 0570-02-9999 (24時間受付)
 インターネット購入 — 「チケットぴあ」http://t2.pia.jp/cinema/
 ●お求めの際は、Pコードをご利用ください。

座・高円寺チケットボックス | 月曜定休 |

窓口 — 10:00—19:00
 電話予約 — 03-3223-7300 (10:00~18:00)
 WEB — https://za-koenji.jp/

◆前売券は、全ての取扱場所で、上映前日までの販売となります。
 ◆前売券が完売した場合、当日券の販売はございません。
 ◆前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

主催・お問い合わせ先
 「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」実行委員会
 〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-20 和晃ビル1階
 (株)ドキュメンタリージャパン内
 TEL:03-5570-3551 | FAX:03-5570-3550
 Mail:za.koenji.documentary@gmail.com
 HP:http://zkdf.net/ @zkdf_net

DIVERSITY

映画・テレビの枠を超えたドキュメンタリー映像の祭典

開催期間 / 2020年

2月7日 [金] 11日 [火祝]

http://zkdf.net/

冬劇場 26 高円寺 ZAKOENJI PUBLIC THEATRE

主催 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会
 共催 座・ドキュメンタリージャパン
 提携 NPO法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺
 杉並区
 芸術文化振興基金助成事業
 (株)NOGOT
 株1004
 岩波映像
 キノフィルムズ
 原田美枝子
 分福
 日本映像記録センター
 シンクロ
 毎日放送
 シンプルモク
 グループ現代
 東風
 山形国際ドキュメンタリー映画祭
 NHK
 東京区テラ
 サニフィルム
 えんじの音

11

ZA-KOENJI
Documentary
Festival

「座・高円寺」 ドキュメンタリー フェスティバル

Vol.

特集◆カメラマン|鈴木達夫



2.7金

12:00—上映
13:00—トークイベント
ゲスト
筒井武文(映画監督)
山崎裕(プログラムディレクター)

日本発見シリーズ 「佐賀県」「鹿児島県」

撮影:鈴木達夫 1961年|29分+29分|モノクロ|NET(現テレビ朝日)

岩波映画製作所出身のカメラマン・鈴木達夫の特集。松本俊夫や寺山修司、長谷川和彦などの映画の撮影で知られるが、キャリアのスタートはドキュメンタリーであった。ほぼデビュー作であるNETテレビ(現:テレビ朝日)の「日本発見」シリーズ2本を上映し、そのカメラワークの原点を見つめる。演出は土本典昭。

特集◆ダイバーシティ



2.7金

14:00—上映
16:20—トークイベント
ゲスト
安田菜津紀(フォトジャーナリスト)

©2017 Human Flow UG. All Rights Reserved.

ヒューマン・フロー 大地漂流

監督:アイ・ウェイウェイ 2017年|140分|カラー|ドイツ

中国を代表する現代美術家アイ・ウェイウェイが、世界23カ国40ヶ所もの難民キャンプを訪ね、難民問題の現状を自らレポートする。紛争による迫害や貧困など、苛烈な状況を語る人々と真正面から対峙する一方で、空撮を多用した美しい映像が、地球規模で起きている問題の深刻さを厳しく訴える。



2.7金

17:30—上映
17:55—トークイベント
ゲスト
原田美枝子(本作監督・女優)

女優:原田美枝子 2019年|24分|カラー

女優 原田ヒサ子

監督:原田美枝子 2019年|24分|カラー

女優・原田美枝子の母、ヒサ子。90歳になり認知症が進んでしまったが、あるとき「私、15歳の時から女優をやってるの」と言い出した。娘の人生を我が事のように語る母に驚いた原田だが、その思いを汲み、息子や娘とも協力し、母を“女優”に仕立てることを思い立つ。その時、カメラが映し出したのは…。

第11回特集◆ダイバーシティ—多様性—

DIVERSITY

ドキュメンタリーはカメラの発明と共に出発した。また、テレビジョンとは“遠くを見る”という意味でもある。ドキュメンタリーの映像は“知られざる世界”を伝えてきたのだろう。ある者は遠くの“辺境”を目指し、またある者は“異文化”に向き合った。人種、宗教、ジェンダーetc. 異なる価値観が渦巻く多様性の時代に、ドキュメンタリーが果たす役割とは？

プログラムディレクター **山崎 裕**

特集◆ダイバーシティ



★無料参考上映(上映後トーク有料)

2.8土

11:00—上映
入れ替え
12:00—トークイベント
ゲスト
杉山忠夫(本作ディレクター)
山崎裕(プログラムディレクター)

すばらしい世界旅行 **鳥葬の国 ムスタン**

ディレクター:杉山忠夫 1977年|51分|カラー|日本テレビ

牛山純一プロデュースの「すばらしい世界旅行」シリーズの1本。ネパール北部、チベット国境の山岳地帯に位置するムスタン。ラマ教の信仰厚いこの地域の生活を記録するうちに、カメラは村の老婆の死に出会う。僧侶の占いで鳥葬とされた彼女の身体は、ハゲワシが舞う中、自然に還ってゆく。



2.8土

13:15—上映
14:42—ビデオメッセージ
イ・スンジュン(本作監督)

渚のふたり 【バリアフリー版上映】

監督:イ・スンジュン 2011年|87分|カラー|韓国

ソウル郊外。目が見えず、耳も聞こえない夫ヨンチャンと、脊髄に障がいを抱える妻スンホの生活を、2年に渡って記録した作品。指文字を使ったコミュニケーションや、仲間との交流など、ふたりの日常が丁寧に描かれる。時折挿入される、指先で得た感覚から生み出されたヨンチャンの詩がみずみずしい。



2.9日

11:00—上映
12:20—トークイベント
ゲスト
川井田博幸(映画プロデューサー)
山崎裕(プログラムディレクター)

© 2013 by Film Preservation Associates, Inc.

極北のナメーク

監督:ロバート・フラハティ 1922年|78分|モノクロ|アメリカ

ドキュメンタリーの始祖・ロバート・フラハティが、カナダ北部のイヌイット、ナメーク一家の生活を記録した記念碑的な一作。極地の厳しい自然と向き合いながら、狩猟や交易を行う一家の様子を克明に描いた本作は、取材対象者との関係性や撮影方法など、今日まで記録映画に大きな影響を与えている。



2.9日

13:15—上映
14:50—トークイベント
ゲスト
樹梨杏(本作出演)
井戸隆明(本作出演)

©2017 恋とボルバキア 製作委員会

恋とボルバキア

監督:小野さやか 2017年|94分|カラー

宿主を性転換させるバクテリアの一種“ボルバキア”の如く、生まれた性とは異なる性を懸命に生きる人々を描く。女装者やトランスジェンダーなど、8人のセクシャルマイノリティの日常や恋愛模様を監督自身も翻弄されながら、人によって様々な、生きづらさや幸せのかたちを描き出していく。



2.9日

16:00—上映
17:35—トークイベント
ゲスト
西原孝至(映画監督)

撮影:山形国際ドキュメンタリー映画祭

これは君の闘争だ

監督:エリサ・カバイ 2019年|93分|カラー|ブラジル

ブラジル・サンパウロで、公共交通の値上げや公立高校の再編に反発し、学校や街頭を占拠する若者たち。彼らの激しい闘いはやがて小さな勝利を勝ち取るが、国家の無慈悲な暴力や反動的な極右勢力の台頭も同時に記録されている。出演者3人による、闘争を振り返る議論を兼ねたリズムカルなナレーションがクール。

★無料参考上映(上映前トーク無料|上映後トーク有料)

2.9日

18:30—上映前トーク
[国分拓(本作ディレクター)]
18:45—上映
入れ替え
20:20—トークイベント
ゲスト
高野秀行(ノンフィクション作家)

アウラ

ディレクター:国分拓 2018年|85分|カラー|NHK

30年前、アマゾンの森から素っ裸で現れた、文明と未接触の先住民「イゾラド」。ブラジル政府は保護したが、未知の言葉を操る彼らとの意思疎通は難航する。やがて一人の言語学者が長年の交流を通して単語の意味を探り当てるが、唯一生き残った彼「アウラ」の発するメッセージは衝撃的なものだった…。



2.10月

11:00—上映
12:40—トークイベント
ゲスト
山上徹二郎(映画プロデューサー)

シベリヤ人の世界

監督:土本典昭 1968年|99分|カラー

戦後を代表するドキュメンタリスト土本典昭が、ロシア革命50周年を機に、シベリアに生きる人々の生活を見つめた旅の記録。短い夏を楽しむ若者たちや結婚式の宴会、軍事パレードの傍らで行われるダンスなど、貴重な光景に、時折土本自身が所感を述べたコメントが挿入され、印象に残る。



2.10月

13:30—上映
15:00—トークイベント
ゲスト
有田浩介(本作記録)

© 2017 Bidayar for Audiovisual Arts, BASIS BERLIN Filmproduction

セメントの記憶

監督:シアード・クルスーム 2018年|88分|カラー

ドイツ、レバノン、シリア、アラブ首長国連邦、カタール

長い内戦を経て復興に沸くレバノン・ベイルート。高層ビルの建設現場で働くシリア人労働者の姿を独特の映像感覚で捉える。槌音響く建設現場の労働と、戦争で破壊された祖国のイメージの連鎖に、出稼ぎ労働者だった父の記憶のモノロークが重なる。自身もベイルートに亡命したシリア人監督による映像詩。

★無料参考上映(上映後トーク有料)

2.11火・祝



18:00—上映
入れ替え
19:50—トークイベント
ゲスト
山口秀矢(本作プロデューサー)
吉岡忍(ノンフィクション作家)

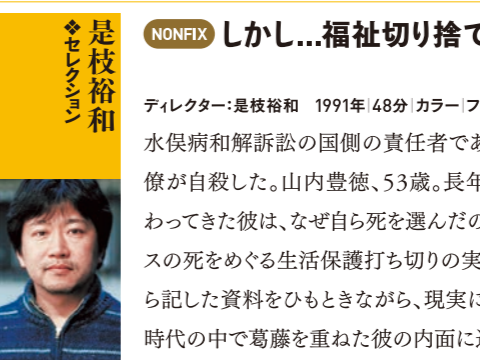
BS1スペシャル **ボルトとダシャ**

マンホールチルドレン20年の軌跡

ディレクター:森都 プロデューサー:山口秀矢 2019年|99分|カラー|NHK

モンゴル・ウランバートル。1998年の初取材時は、マンホールの中で暮らすストリートチルドレンだったボルトとダシャ。あれから20年、運命に翻弄され紆余曲折を経ながらも、職を得て、懸命に生きていた。仲間の女性をめぐる決裂や家族との離別など、壮絶な人生を送りながらも支えあう2人の軌跡を追う。

ゲスト◆セレクション

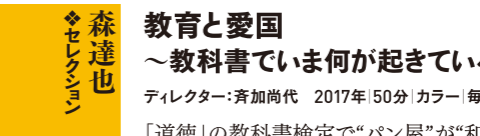
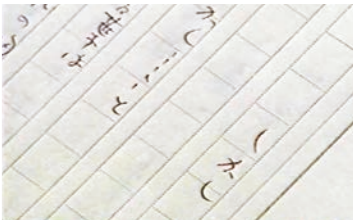


◆セレクション

是非枝裕和

ディレクター:是枝裕和 1991年|48分|カラー|フジテレビ
水俣病和解訴訟の国側の責任者であったエリート官僚が自殺した。山内豊徳、53歳。長年福祉行政に携わってきた彼は、なぜ自ら死を選んだのか? あるホステスの死をめぐる生活保護打ち切りの実態や、山内が自ら記した資料をひもときながら、現実に押し流されゆく時代の中で葛藤を重ねた彼の内面に迫る。

★無料参考上映(上映後トーク有料) 2.7金
19:15—上映 | 入れ替え | 20:15—トークイベント
ゲスト 是枝裕和(映画監督)



◆セレクション

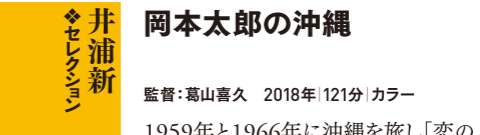
森達也

教育と愛国 ~教科書でいま何が起きているのか~

ディレクター:斉加尚代 2017年|50分|カラー|毎日放送

「道徳」の教科書検定で“パン屋”が“和菓子屋”に変わるなど、“愛国心”を巡る政府の干渉が強まる中、ある歴史教科書を採択した学校に、採択を非難する大量のハガキが届いた。慰安婦の記述を機に会社が倒産に追い込まれた編集者や、保守系歴史教科書の執筆者の話聞き、教育と政治の関係を見つめる。

★無料参考上映(上映後トーク有料) 2.8土
16:00—上映 | 入れ替え | 17:00—トークイベント
ゲスト 森達也(映画監督・作家) 斉加尚代(本作ディレクター)



◆セレクション

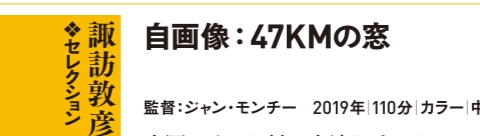
井浦新

岡本太郎の沖縄

監督:葛山喜久 2018年|121分|カラー

1959年と1966年に沖縄を旅し「恋のような」熱狂を写真や文章に残した芸術家・岡本太郎。とりわけ2回目に訪れた久高島の祭事・イザイホーには強い感銘を受けたという。太郎の旅の足跡を辿り、当時出会った人々の話や変わりゆく現在の沖縄の風景を重ねながら、彼が沖縄に何を発見したのかを探る。

18:15—上映 | 20:20—トークイベント
ゲスト 井浦新(俳優・本作語り) 葛山喜久(本作監督)



◆セレクション

諏訪敦彦

自画像:47KMの窓

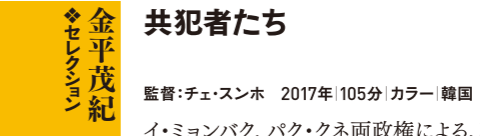
監督:ジャン・モンチー 2019年|110分|カラー|中国

中国の小さな村で交流を重ねながら、埋もれた歴史を掘り起こす撮影を続けるジャン・モンチーの最新作。老人は自ら激動の半生を語り、少女は老人の似顔絵を描き、古い小屋に記されたスローガンを見て、国の未来に思いを馳せる。村の親密な時間の記録に加え、社会批評や身体表現なども込めた意欲作。

2.10月
16:00—上映 | 17:50—トークイベント
ゲスト 諏訪敦彦(映画監督)



©撮影:山形国際ドキュメンタリー映画祭



◆セレクション

金平茂紀

共犯者たち

監督:チェ・スンホ 2017年|105分|カラー|韓国

イ・ミョンバク、パク・クネ両政権による、韓国の公共・公営放送への言論弾圧の実態を告発したドキュメンタリー。政権に批判的な番組や経営陣は排除され、チェ監督自身も解雇されたが、独立メディアで調査を継続、「主犯」である政権幹部と共に、権力に迎合した業界内の「共犯者たち」をあぶり出す。

2.10月
19:00—上映 | 20:45—トークイベント
ゲスト 金平茂紀(ジャーナリスト)



©KCJ Newspix

第11回「座・高円寺」ドキュメンタリーフェスティバル
コンペティション部門入賞作品上映
映画・テレビ・自主制作…新しい才能を全国から発掘!

2.11火・祝

【審査員(予定・敬称略)】
佐藤信(劇作家・演出家「座・高円寺」芸術監督)／橋本佳子(映像プロデューサー)／足立正生(映画監督)
秋山珠子(立教大学アジア地域研究所研究員・字幕翻訳者)／金子遊(映像作家・批評家)

10:00—入賞作品上映
20:30—入賞作品・大賞表彰式
入賞者トーク&閉会式
21:00—終了予定